

## 令和 4 年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、◎質問 ※その他

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
<p>●電子図書館サービス導入を評価するが、紙媒体図書資料の館外個人貸出冊数は、人口一人当たり 5 冊以上を期待する。</p> <p>●コロナがだんだん収束し図書館利用者が増えたが、反対に移動図書館車の利用が減少したことはどうであろうか。</p> <p>●移動図書館車「わっしょい文庫」を楽しみにしている人を含めた電子図書館への利用促進が大切なことである。</p> <p>○蔵書数の拡大など、幼児から大人まで幅広い年代が学ぶことのできる環境が整っている。</p> <p>○図書購入目標冊数に応じた図書購入がされており、一層の活用充実が期待される。</p> <p>○利用者のニーズを反映した対応がなされている点は、大いに評価できる。</p> <p>○ホームページをリニューアルされて、アクセスしやすくなったのは素晴らしい。</p> <p>○「安全・危機管理業務」について、いつ何時も毅然とした態度で望まれていること、毎日開館前に AED などの点検が行われていること、マニュアルに基づいて常に事故や犯罪等の発生に迅速かつ的確な対応ができるように心がけていることなどによって、利用者が安心して図書館を利用することができており、感謝する。</p> <p>○SNS「Instagram」を活用した情報発信スタートを評価したい。</p> <p>○移動図書館「わっしょい文庫」が定期的に運行され、遠隔地の方々の利用に役立っている。</p> <p>○電子図書館の開設によって、高齢者・障害者などの来館が困難な人へのサービスが向上した。</p> <p>○電子図書館体験会（学校図書ボランティアネット・防府にて開催）は、とてもわかりやすくてよかった。</p> <p>○資料検索などのためのタブレット端末機を導入したことや Wi-Fi が使えるようにした令和 3 年度に引き続き、令和 4 年度 10 月には、電子図書館を開設するという「今の時代」にマッチした取組を行ったことは、評価に値する。</p> <p>◇Instagram の投稿をもっと増やしてほしい。例えば、「蔵書点検では本のバーコードを 1 冊ずつ読みこんで確認しています」という動画は、防府図書館を身近に感じるし、お知らせではない日常が伝わる。サービス内容など今の図書館を伝えてほしい。</p> <p>◇ツイッターやフェイスブック等今の若者へ向けて本の紹介など少しでも多く発信し、「何かやっている」「面白そう」といった感想を持ってもらえるようになると嬉しい。</p> <p>◇ホームページは行事予定がわかりにくいので、ボランティアの団体の行事ももっとわかりやすい形で載せてもらえると行きやすい。</p> <p>◇布絵本展示用棚の設置は嬉しいが、紙芝居書架のさらに利用しやすい工夫を望む。</p> <p>◇電子図書館の電子図書の普及推進・充実（貸出冊数の増加・電子図書購入冊数の増冊）を計画的に行ってほしい。</p> <p>◇電子図書館の PR・周知をしっかりと行い、利用を増やしてほしい。</p>	<p>●行事を通して、学校や地域の人々との交流ができればよい。</p> <p>○子ども読書フェスティバルや図書館まつりも、コロナ対策をしながら開催できてよかった。</p> <p>○図書館まつりや子ども読書フェスティバルは、職員とボランティアの協力で定着している。</p> <p>○コロナ禍のため、イベント開催にあたり人数制限を設けられることもあったようだが、例年通り防府市子ども読書フェスティバルや図書館まつりが開催されたことは、評価に値する。</p> <p>○様々なボランティアの活動の場となっており、人々の楽しみや生きがいにもつながる図書館となっている。</p> <p>◇新たなボランティアの養成・スキルアップ及び読書活動の推進に向けて、引き続き尽力してほしい。</p> <p>◇新たなボランティアとしての高校生の募集養成を期待する。</p> <p>◇子どもボランティア養成講座を開催してほしい。</p> <p>◇図書館ボランティア養成講座で点訳や朗読ボランティアの紹介や体験ができるとよいのではないかな。</p> <p>◇交流を進めるボランティアグループのメンバーの養成を計画的にやってほしい。</p> <p>◎防府図書館だけに限られたことではないが、課題に挙げられている「ボランティア団体や生涯学習グループのメンバーの高齢化」は、どのようにすれば解消すると考えているか（ボランティアか図書館まつり実行委員会かで高校生の参加を呼びかけるようなことを言われていたと思われるが）。</p> <p>※令和 5 年のこととなるが、5 月 28 日防府市子ども読書フェスティバルのイベント『絵本作家よしながこうたくさんと合作ワークショップ』の準備の時、よしながさんが「こんなに早くから、こんなにたくさんのボランティアの人が集まる場所はないですよ。防府は素晴らしい」と言われており、実際のボランティアの人数は書かれていないが、地域の人たちで作られる素晴らしい防府図書館であることを知ってほしい。</p> <p>※今年度の図書館まつりは、土曜日が準備、日曜日が開催で、高校</p>	<p>○「今村翔吾のまつり旅」は、急に決まった行事にもかかわらず、多くの参加者があり、図書館の企画を評価できる。特に高校生の参加があったことは嬉しい。</p> <p>○例年通り、展示コーナーなどで、月例資料展示を 35 回、ミニ資料展示を 51 回も開催し、また、文化行事として数多くの講座などを開催していることは大変ありがたく、図書館職員の負担にならないように留意しつつ、これからも続けてほしい。</p> <p>○特別展示コーナーやミニ展示コーナーは、バラエティー豊かで素晴らしく、思わず本を手にとってしまう工夫もとても良いと思う。</p> <p>○「大人のくらし塾」はかなり好評だったということだが、アクティブシニアの活躍できる場として、これからも期待している。</p> <p>○「防府図書館利用者懇談会」は、参加者が多いとは言えないかもしれないが、利用者からの客観的な意見や提言を聞けており、これからも継続してほしい。</p> <p>○那須正幹さん追悼行事として開催された「子ども読書フェスティバル」は、大人から子どもまで多くの参加があり、大変充実していた。座談会講師はじめ諸準備を進めた関係者の協力などに感謝し、評価したい。</p> <p>◇特定の参加者による活動ではなく、幅広く、親しみやすく、楽しめる企画を期待している。</p> <p>◇ポストコロナへの対応を積極的に行い、新たなイベントも行ってほしい。</p> <p>◇月いちキネマの参加者数の緩和をされてはどうか。</p> <p>◇講習室で行事がある時には、A4 サイズの告知プリントだけでなく、館内にいる人にもわかりやすい看板をしてほしい。</p>

- ◇図書館の一角で来館者へスマホのPRコーナーを設けてはどうか。
  - ◇良い本については、選書に役立てるため、専門的な立場から、幼保小中高等学校にも紹介してほしい。
  - ◇ホームページから図書館を使った調べる学習コンクールに関するリンクと、レファレンスの申込みができるようにしてほしい。
  - ◇司書によるレファレンスサービスをもっと周知し、窓口を広げてもらいたい。
- ◎予算には限りがあると思うが、令和5年度以降の電子媒体と紙媒体との購入方針を伺いたい。
- ◎まだ電子図書館を開設して半年ほどだが、実人数、延べ人数、どのくらいの年齢層の方が利用されているのかなどを知りたい。
- ◎「テーマ別ブックリスト」は公開されているものか知りたい。

生や学生を含めたボランティアを集めやすくなり、よいと思う。

※「ボランティア養成講座」など対面での開催がやはり効果的である。

4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館	5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館
<p>●防府の文化人（最近の人も含む。）の掘り起こしができる資料がないだろうか。</p> <p>○地域の歴史や文化コーナーがあり、大切にされていることがよく分かる。</p> <p>○地域の特性を反映した積極的な資料収集を行っていることは、大いに評価できる。</p> <p>○地域の歴史や文化に係る事業を積極的に行うことは、防府市立防府図書館の特色のひとつであり、強みであると思われる。これからも地域資料の情報発信を継続されることを期待している。</p> <p>○図書館を使った調べる学習コンクールの「上山満之進賞」開始を喜ぶたい。</p> <p>○例年通り、防府史料第72集として「山県周南文集初編」の刊行、公開をしたことは、十分に評価に値する。</p> <p>◇他部局と連携しての歴史・文化へ切りこんだり、イベントを実施したりすることで国際理解への貢献ができるのではないかな。</p> <p>◇地域の歴史は意外と知らないものがあるので、たくさんの資料を生かして、地元の歴史を次世代へ語りつぐための展示もして欲しい。</p> <p>◇地域の行事や文化を折々もっと特集してほしい。</p> <p>◇上山満之進と三哲文庫の関連性をPRしてほしい。</p> <p>◇世界的行事・スポーツ行事も絡めての本の紹介をもっとしてほしい。</p> <p>◇防府で生活する外国の方への理解を深めるサービスを期待する。</p>	<p>●中学校との連携が薄いように感じる。中学生から本離れが進む実情があるので、中高生にも目を向けてほしい。</p> <p>○学校図書館支援業務は、学校現場として、とても役立っており、また、選書会には、毎回、防府市図書館の本が活用されている。</p> <p>○学校司書の取組により学校図書館の環境が大きく変わってきており、引き続き支援業務をお願いしたい。</p> <p>○学校図書館とのネットワーク・システムの構築は、学校教育にとって大変ありがたい。</p> <p>○例年通り、防府市文化振興財団内連携事業を開催されることは、好評であり、防府図書館ならではの特徴のひとつといえる。</p> <p>○公民館に配本所を設置するという地域文庫業務を行っていること、科学館学芸員と図書館司書がそれぞれの視点から読書感想文を書くヒントをパネルにするなどの活動は素晴らしいが、さらに、それぞれの立場から対面で子どもたちにそれを伝えられるとよい。</p> <p>○文化振興財団内の連携によるイベント開催を評価し、継続を望む。</p> <p>◇ネットワークの中心にすることを意識したシステムの加速化をしてほしい。</p> <p>◇学校図書館とのネットワーク・システム活用による一層の学校支援図書利用を期待する。</p> <p>◇連携事業のPRをもっと行ってほしい。</p> <p>◇ルルサス文化センター開設による図書館利用との相乗効果を期待する。</p> <p>◎（1）事業実施状況にある②「地域文庫」とはどのようなものか？</p> <p>◎地域文庫、貸出文庫の運営とはどのようなことをされているのか？</p>	<p>●調べる学習コンクールの小学生のレベルの高さに驚いたが、中学生に広げていくことは、かなりハードルが高いと感じる。</p> <p>●子どもたちの生活の中にもっと読書活動を入れるにはどのようにすればよいのだろうか。</p> <p>○地道な活動は、よくやっていると思う。</p> <p>○おはなし会も定期的で開催されていて評価できる。</p> <p>○「調べる学習コンクール」において、上山満之進賞が設立され、地域のコンクールとして、市民や子どもたちに周知されてきている。</p> <p>○「上山満之進賞」を創設されることによって郷土を今一度見つめるよい機会になったのではないかと思われ、これからも郷土愛に満ちた作品が数多く集まることを期待している。</p> <p>○「読書感想文教室」の開催も防府図書館の特徴のひとつと言え、かなり負担になるかと思うが、継続してもらいたい。</p> <p>○図書館職員の資質向上につながるブックトーク継続を評価する。</p> <p>◇図書館が建物の3階にあることで、小学生だけではわかりにくく入りづらいのではないかな。</p> <p>◇調べる学習コンクールのレプリカなどの展示については、メディアによる周知があると一層広められていくと思われる。</p> <p>◇子どもの読書習慣が育つような事業をもっと展開してほしい。</p> <p>◇子ども読書活動推進のための図書館ボランティアへの支援強化により、専門的な立場から子どもたちに本の楽しさを伝えていただけることを期待している。</p> <p>◇もっとボランティア活動も紹介してほしい。</p> <p>※図書館関連コンクールの生成AI対応のガイドラインが必要である。</p> <p>※多くの体験学習が計画されているので、子どもたちが図書館に集い色々な経験を積んでほしい。</p> <p>※事業実施状況の中に加えていただきたいのだが、おはなしグループ森のくまさんのおはなし会は、7月23日に紙しばい、7月30日と3月4日にストーリーテリングを行った。また、子どもの本を読む会では、6月5日開催の読書フェスティバル那須正幹ワールドにあわせて、那須さんの作品を紹介する冊子を作成し子ども達に配布した。おそらく他の団体の方も、例会以外に活動されている。</p>

## 7. 障害者や高齢者に優しい図書館

●障害者や高齢者のための電子図書をはじめ、電子機器やシステムをもっと活用できるのではないか。

●本が高い位置まであるので、障害者や高齢者には利用しにくいのではないか。

○概ね計画通りに実施されており、十分な配慮が行われていると思われる。

○障害者や高齢者の図書館利用促進のために、様々なサービスの提供等が行われていることは、大いに評価できる。

◇令和4年から大活字本を利用しているが、新刊本のブックリストがあると便利。

◇図書館の位置や場所がわかりにくく入館しづらいため、もっとわかりやすい大きな表示を望む。

◇認知症関連など高齢者対象サービスの新企画等の新しい取組をしてほしい。

◇障害者サービス周知への様々な努力が、ボランティア育成にもつながることを期待したい。

◎昨年の10月から文字の拡大や音声読み上げなどのできる電子書籍がインターネットを通じて利用できる電子図書館を開設したとのことだが、まだ8か月しか経過していないが、どのくらい利用されているか。

◎ひなぎくネットの利用状況はどうか。

◎前年度に引き続き、対面朗読の利用がなかったということだが、今後、障害者や高齢者への周知はどのようにされる予定か。

◎課題等に次世代を担うボランティアの育成とあるが、詳しく知りたい。

◎ホームページでの会員募集実施とあるが、それはホームページのどこを見たらわかるか？

※視覚障害者向けに「新刊紹介」等をCDで音声訳して入れるボランティア活動がある。

# 令和4年度防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価表(案)

資料 2

評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。  
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館			
(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館			
R4年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資料収集業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実</li> <li>・図書購入目標冊数10,100冊。内一般7,600冊、児童2,400冊、郷土関係100冊</li> <li>・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点</li> <li>・電子書籍購入目標冊数1,000冊</li> </ul> </li> <li>②資料分類・目録整備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供</li> </ul> </li> <li>③書架管理・蔵書点検業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月)</li> </ul> </li> <li>④資料提供業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進</li> </ul> </li> </ul>		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度館外個人貸出者数138,034人、館外個人貸出冊数531,343冊</li> <li>・電子図書館登録者数42,510人、電子書籍貸出冊数4,192冊</li> <li>①資料収集業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて適正な選書・収集を実施</li> <li>・図書購入冊数9,953冊。内一般7,014冊、児童2,807冊、郷土関係101冊</li> <li>・視聴覚資料購入点数129点。内CD99点、DVD30点</li> <li>・電子書籍購入冊数1,000冊</li> </ul> </li> <li>②資料分類・目録整備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供</li> </ul> </li> <li>③書架管理・蔵書点検業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検を実施(10月4日・5日・6日、3月7日・8日・9日)</li> </ul> </li> <li>④資料提供業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	蔵書数の増加に伴う、閉架書庫内の空きスペース確保		
自己評価	電子図書館のスタートに当たり、電子書籍の購入は計画通りに行えた。令和5年度からの購入冊数については見直しをした。	評価	B

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

R4年度  
事業計画

- ①コンピュータシステム管理業務
  - ・円滑な運用によるサービスの強化
  - ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用
- ②情報発信(広報)業務
  - ・ホームページの整備、充実
  - ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」・防府市文化振興財団広報紙「メールマガジン」・地域情報誌「ほっぷ」への定期的な記事の掲載、「防府市メールサービス」への随時の記事の掲載、地域コミュニティFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進
- ③図書館年報作成業務
  - ・「令和3年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日)
- ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務
  - ・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯管理、危機管理体制の改善と整備(定期避難訓練2回実施)
- ⑤利用マナー啓発業務
  - ・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月1日～8月31日)の実施

事業実施  
状況

- ①コンピュータシステム管理業務
  - ・それぞれの世代等によって異なる利用目的に適応できるサービスを展開
  - ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介
- ②情報発信(広報)業務
  - ・電子図書館のスタートに合わせて、ホームページをリニューアル(9月28日)
  - ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、「行政関係図書紹介」を季刊で発行、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」・地域情報誌「ほっぷ」へ定期的に記事を掲載、「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ(FMわっしょい「防府市からのお知らせ」)に毎月第2・4木曜日に出演
  - ・新たな情報発信手段としてSNSの「インスタグラム」を採用(12月21日)
- ③図書館年報作成業務
  - ・令和3年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日)
- ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務
  - ・設備・備品の点検と修理を随時実施し、図書館まつり実行委員会より寄贈を受けた「布絵本展示用棚」を親子読書コーナーに設置
  - ・増加したDVDを配架するため、DVD用ラックを資料検索コーナー横に設置
  - ・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との協議を毎月開催
  - ・図書館独自の消防避難訓練(10月6日、3月9日)を実施、ルルサス防府消防避難訓練(10月20日、3月15日)に参加を配下するためのラックを資料検索コーナー横に設置
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、準備室・お話のへや等を閉鎖(4月1日～3月31日)、受付カウンターにビニール壁を設置、研修室は利用人数制限と利用目的制限(定員20名、自習での利用は不可)、インターネットコーナー・持込パソコンコーナーの利用時間制限(6月30日まで)、DVDコーナーの利用回数制限(6月30日まで)、座席数は半減(3月6日まで)、体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドを設置
- ⑤利用マナー啓発業務
  - ・「マナーアップキャンペーン」を実施して(7月6日～8月31日)、「グッドマナーチャレンジカード」を550枚配布し、達成者は67人

課題等

・経年劣化しつつある閲覧用椅子の計画的買い替え

自己評価

・概ね計画通り実施できた

評価

B

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
R4年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回</li> <li>・コース、ステーション等の半年毎の見直し</li> <li>・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施</li> </ul> </li> <li>②電子図書館運営業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用する電子図書館システムの利用促進</li> </ul> </li> </ul>		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で運行</li> <li>・各コース、ステーションの利用状況を分析</li> <li>・「みんな集まれ！はたらく車展」(7月17日)、「西浦まつり」(11月6日)、「玉祖小学校」(11月14日)において、移動図書館車の臨時出張サービスを実施</li> </ul> </li> <li>②電子図書館運営業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子図書館を開設(10月1日)、システムを適切に管理運営し、普及活動を推進</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	・移動図書館車と電子図書館の利用促進		
自己評価	・電子図書館を開設することで、図書館を利用しにくい人々への新たなサービスを開始できた	評価	A
(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
R4年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進</li> <li>・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と「レファレンス協同データベース」の活用</li> <li>・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進</li> <li>・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実</li> <li>・レファレンス研修、フロアワークの強化</li> </ul> </li> <li>②図書館資料の複写サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施</li> </ul> </li> </ul>		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施</li> <li>・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、ちらしやホームページで紹介するとともに、「レファレンス協同データベース」を活用してのサービスを実施</li> <li>・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを推進</li> <li>・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等を作成・整備</li> <li>・利用者へのサービスをより充実させるため、レファレンス研修に参加</li> </ul> </li> <li>②図書館資料の複写サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 1-(1) 紙媒体図書資料の館外貸出は、人口一人当たり5冊以上を期待する。
- 1-(1) 蔵書数の拡大など、幼児から大人まで幅広い年代が学ぶことのできる環境が整い、利用者のニーズを反映した対応がされている点は、評価できる。
- 1-(2) ホームページのリニューアルにより、アクセスしやすくなった。
- 1-(2) ホームページの行事予定がわかりやすく、ボランティア団体の行事も、もっと分かりやすくしてほしい。
- 1-(2) SNS「インスタグラム」の情報発信がスタートしたことが評価できる。今後は、図書館を身近に感じるような投稿を増やし、図書館サービスの周知に努めてほしい。さらに、ツイッターやフェイスブック等、今の若者へ向けた情報発信をしてほしい。
- 1-(2) コロナの収束に伴い図書館利用者が増えたが、反対に移動図書館車の利用が減少したのはいかがか。
- 1-(2) 日常の点検から事故や犯罪の発生に対して、職員がいつ何時も毅然とした態度で臨んだり、迅速かつ的確な対応を心がけるなど、利用者のために安心・安全な図書館であろうとする態度に感謝する。
- 1-(2) 布絵本展示用棚の設置は喜ばしいが、紙芝居書架の利用については、更なる工夫を望む。
- 1-(3) 移動図書館車「わっしょい文庫」は、遠方に住む人にとって、ありがたいサービスである。令和4年度から大道中学校も新ステーションとして加わり、生徒も関心を持っている。定期的な運行で、評価できる。
- 1-(3) 令和4年10月から電子図書館を開設したことは「今の時代」にマッチしている取組で評価できる。移動図書館を利用するような方や自宅でインターネットを利用する高齢者・障害者など、図書館への来館が難しい方への利便性が良く、サービスが向上した。今後も周知に力をいれ、普及推進をお願いしたい。
- 1-(3) 電子図書館体験会はとても分かりやすく評価できる。PRに力を入れてほしい。
- 1-(4) 司書によるレファレンスサービスをもっと周知し、窓口を広げてほしい。
- 1-(4) 幼保小中高等学校の選書に役立つよう、司書が専門的な立場から、良い本を紹介してほしい。

## 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

R4年度 事業計画	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第11回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月5日)、第32回「防府図書館まつり」(10月15日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施 状況	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第11回「防府市子ども読書フェスティバル」を6月5日(参加者数165人)に、第32回「防府図書館まつり」を10月15日(参加者数1,239人)に、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
課題等	・ボランティア団体や生涯学習グループのメンバーの高齢化		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人数制限を設けてのイベント開催となった	評価	B

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

R4年度 事業計画	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)		
事業実施 状況	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月26日に開催し、現状と課題について意見交換(参加者数15人) ・「図書館ボランティア養成講座」を2月2日(参加者数16人)、2月9日(参加者数11人)、2月16日(参加者数11人)、2月23日(参加者数14人)に開催		
課題等	・新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

### 【図書館協議会の意見(案)】

- 2-(1) 子ども読書フェスティバルや図書館まつりが、コロナ対策のため、人数制限をしながらも例年通り開催できたことは、評価に値する。職員とボランティアの協力で、定着している。
- 2-(1) 行事を通して、学校や地域の人々との交流ができるとよい。
- 2-(1) イベントに協働しているボランティア数が不明だが、防府図書館は、たくさんの地域の人たちで作られている素晴らしい図書館であることを知ってほしい。
- 2-(2) 様々なボランティアの活動場所となり、人々の楽しみや生きがいにもつながる図書館となっていることは評価できる。
- 2-(2) 新たなボランティア(高校生等)の養成・スキルアップにむけて尽力してほしい。
- 2-(2) 交流を進めるボランティアグループのメンバーの養成を計画的にしてほしい。
- 2-(2) 図書館ボランティア養成講座に点訳や朗読ボランティアの紹介や体験ができる講座があると良いのでは。
- 2-(2) 子どもボランティア養成講座の開催を要望する。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

R4年度 事業計画	①イベント・懇談会業務 ・「トークイベント」第11回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月5日)において、故那須正幹氏(防府市在住の児童文学作家)を偲んで、森川信夫・山本安彦・横山眞佐子・中山聖子の4氏によるトークイベントを開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」の開催(11月・3月の2回) ・「月いちキネマ」の開催(毎月1回) ・「大人のくらし塾」(9月・3月の2回) ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月) ②資料展示・展覧会業務 ・展示ケース・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催		
事業実施 状況	①イベント・懇談会業務 ・第11回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月5日開催)において、故那須正幹氏(防府市在住の児童文学作家)を偲んで、森川信夫・山本安彦・横山眞佐子・中山聖子の4氏によるトークイベントを開催(参加者数82人) ・「防府図書館ビブリオバトル」は、第1回を11月3日(参加者数20人)、第2回を3月19日に開催(参加者数33人) ・「月いちキネマ」を毎月1回開催 ・シニア向け実用講座「大人のくらし塾」を前期後期に各2回開催(11月10日、11月24日、2月10日、2月11日:参加者数56人) ・「防府図書館利用者懇談会」を12月1日(参加者数11人)に開催 ・「今村翔吾のまつり旅」講演会～歴史から物語ができるまで～を6月8日(参加者数359人)に開催 ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示を35回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を51回実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面等での展示を12回実施		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・各行事とも概ね計画通りに開催でき、特別企画として直木賞作家による講演会も開催できた	評価	A

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

R4年度 事業計画	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進		
事業実施 状況	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お話のへや・準備室の利用を禁止し、研修室は利用にあたっての人数・時間制限を設けた		
課題等	・グループ数や会員数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動の支援を十分にはできなかった	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 3-(1) 子ども読書フェスティバルの那須正幹さんの追悼行事には、多くの参加者があり大変充実し、盛会だった。大人も子どもも楽しめたイベントになった。座談会講師をはじめ関係者には感謝し評価したい。
- 3-(1) 「月いちキネマ」の参加者数の緩和をしてはどうか。
- 3-(1) 直木賞作家「今村翔吾のまつり旅」は、急な開催にも関わらず、多くの参加者があり、評価できる。特に高校生の参加があったことは喜ばしい。
- 3-(1) 利用者懇談会は、参加者数が少なくても、利用者の客観的な意見や提言を聞くという機会になっており、継続していることが素晴らしく、これからも継続を望む。
- 3-(1) イベントをよくやっていることは評価するが、ポストコロナへの対応を積極的に行い、特定の参加者による活動ではなく、幅広く、親しみやすい、新たなイベントを期待している。
- 3-(1) 例年通り、展示コーナーなどで資料展示を頻繁に行っていることが評価できる。バラエティー豊かで、思わず手に取ってしまう工夫がされており素晴らしい。図書館職員の負担にならないよう留意しつつ、これからも継続を望む。
- 3-(1) 「大人のくらし塾」は好評だったと聞けが、アクティブシニアの活躍できる場として、今後も期待する。
- 3-(1) 研修室で行事がある時には、A4サイズの告知プリントだけでなく、館内にいる人にも分かりやすくしてほしい。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R4年度 事業計画	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施 状況	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料について情報を収集し、多岐にわたる分野の資料を収集 ・年間郷土資料収集冊数397冊(購入冊数101冊、寄贈冊数296冊)		
課題等	・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

R4年度 事業計画	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ・ブラウジングコーナーでの上山満之進関連展示(9月) ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第72集の刊行とホームページへの掲載(3月)		
事業実施 状況	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」を一部展示替え ・ブラウジングコーナー壁面において、パネル展示「三哲文庫、そして防府図書館」を実施(9月7日～10月3日) ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第72集『周南先生文集 初編 自五至六』(山県周南・著)を3月20日付けで刊行し、ホームページへ掲載		
課題等	・郷土史、郷土文学に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(3)姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館			
R4年度 事業計画	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換)		
事業実施 状況	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録し、春川市立図書館へ図書100冊を寄贈		
課題等	・外国語、外国文化に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

**【図書館協議会の意見(案)】**

4全体 他部局と連携して、歴史・文化へ切り込んだり、イベントを実施することで国際理解への貢献ができるのではないかと。

4-(1) 地域の歴史や文化コーナーがあり、地域の特性を反映した積極的な資料収集を行っていることは、大いに評価できる。これからも地域資料の情報発信に努めてほしい。

4-(1) 防府の文化人(最近の人も含む)の掘り起こしができる資料がないか。

4-(1) 地域の歴史や文化には、意外と知らないものがあるので、たくさんの資料を生かして、地元の行事や文化、歴史などを次世代へ語りつぐために特集展示等をしてほしい。

4-(2) 防府史料の刊行、公開は、十分に評価できる。

4-(2) 「図書館を使った調べる学習コンクール」の「上山満之進賞」開始を喜ぶたい。

4-(2) 上山満之進と三哲文庫の関連性をPRしてほしい。

4-(3) 世界的行事・スポーツ行事も絡めて、もっと本の紹介をしてほしい。

4-(3) 防府で生活する外国の方への理解を深めるサービスを期待する。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

R4年度 事業計画	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ②「地域文庫」・「貸出文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫の利用促進		
事業実施 状況	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出(件数733件・冊数4,213冊) ・学校司書の研修の機会や場を随時提供 ・防府市小教研図書館研究部会議に職員を派遣し、各種サービスや調べる学習の進め方について説明 ・小学校(16校)で開催された選書会のためのリスト作成と新刊図書貸出 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫を運営 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、留守家庭学級を対象に、貸出のための選書を職員が代行するサービスを実施		
課題等	・学校司書や司書教諭との連携		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

R4年度 事業計画	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進 ・文書館・博物館・美術館との連携強化 ②本財団内連携業務 ・財団内連携推進会議の開催(随時) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進		
事業実施 状況	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・県内外の図書館との資料相互貸借(貸出1,176冊・借用739冊)・レファレンス協力・合同研修等を実施 ・文書館・博物館とネットワークを通じてMLA連携 ・山頭火ふるさと館との連携として、山頭火の「今月の一句」と解説の展示、自由律俳句大会のための投句箱を設置、「山頭火を学ぶ会」に講師として職員を派遣 ・「図書館で学ぶナナシマチの歴史」と題して、スタンプラリー(10月8日～11月18日)と講演会「種田山頭火の句を味わう」を11月18日(参加者数20人)に開催 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議を随時開催し、連携事業について検討・協議 ・文化事業との連携として、アスピラートの「中村佑介展」、「はしもとみお木彫展 カタチのうまれるところ」に合わせて関連資料を展示 ・科学事業との連携として、ソラール「見分けの達人展」に合わせて関連資料の展示、「読書感想文のヒント～いつもとちょっと違う視点から、感想文を書いてみよう～」の合同企画展示、「紅葉どんぐり便」の受付窓口を図書館と移動図書館車に設置(11月1日～23日)		
課題等	県内外の図書館等との連携強化		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 5-(1) 選書会用図書の貸出をはじめとする学校図書館支援業務は、学校現場にとってとても役立っている。
- 5-(1) 学校図書館とのネットワーク・システムは、学校教育にとって大変評価できる。今後も、図書館がネットワークの中心にいることを意識したシステムの加速化と、学校支援図書の更なる活用を期待する。
- 5-(1) 中学生から本離れが進む実情があり、図書館と中学校の連携が薄いのではないかと感じるため、中学生への対応を望む。
- 5-(1) 公民館に配本所を設置する地域文庫業務は、評価できる。
- 5-(2) 防府図書館の特徴の一つである防府市文化振興財団内連携によるイベントの開催等は好評であり、評価できる。連携事業の継続と更なるPRを望む。
- 5-(2) ルルサス文化センター開設による図書館利用との相乗効果を期待する。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

R4年度 事業計画	①子ども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」の開催(7月、8月に1回ずつ) ・「第10回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・「チャレンジ！調べる学習」(7月、8月に1回ずつ) ・「読書感想文教室」の開催(7月～8月) ・「おはなし会」の開催(家庭の日・クリスマス) ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・公共施設等での出前講座・出張イベント等の開催		
事業実施 状況	①子ども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」を7月25日と8月1日に開催(参加者数16人) ・「第10回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催(応募作品数:小学生27点・中学生9点) ・「チャレンジ！調べる学習」を7月10日と8月6日に開催(参加者数18人) ・「読書感想文教室」を7月24日、31日に開催(参加者数15人) ・「さんさんおはなし会」を毎月第3日曜日に開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月18日(参加者数22人)に開催 ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験:9件164人、図書館見学:8件462人) ・「えんしん幼稚園」(5月23日)、「子ども家庭支援センター“海北”」(11月16日)、勝間公民館(1月12日)に出張して、絵本の読み聞かせや講演(ブックトーク)を実施		
課題等	・調べる学習コンクールへの出品者数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R4年度 事業計画	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施		
事業実施 状況	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働について関係者と随時情報交換 ・「おはなしでんしゃ」のおはなし会(10月26日・2月8日)、「かすが文庫」のおはなし会(6月26日・9月29日・12月14日)、「利用者・サークル連絡会」の研修会(4月21日・7月28日・2月1日)、「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会(6月27日・2月27日)において、図書館職員によるブックトーク等を実施		
課題等	・ボランティアとの協働事業の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

**【図書館協議会の意見(案)】**

6全体 図書館の地道な活動が評価できる。

6-(1) 子どもたちの生活の中に、もっと読書活動を入れるにはどのようにすればよいかを念頭に置き、子どもの読書習慣が育つような事業を展開してほしい。

6-(1) おはなし会も定期的開催されており、評価できる。

6-(1) 「読書感想文教室」の開催は、評価できるので、継続を望む。

6-(1) 「図書館を使った調べる学習コンクール」において、上山満之進賞が設立され、地域コンクールとして、市民や子どもたちに周知されてきているが、中学生に広げていくことはハードルが高いように感じる。また、入賞した作品のレプリカなどの展示については、メディアによる周知があると、一層広められる。

6-(1) 上山満之進賞の創設は、郷土を今一度見つめるよい機会になった。これから郷土愛に満ちた作品が数多く集まることを期待する。

6-(1) 図書館を使った調べる学習コンクールの生成AI対応ガイドラインが必要である。

6-(1) 図書館が建物の3階にあるため、小学生だけでは分かりにくく、入りづらいのではないか。

6-(2) ボランティア活動の更なる紹介を要望する。

6-(2) 子ども読書活動推進のための図書館ボランティアの支援強化により、専門的な立場から子どもたちに本の楽しさを伝えてもらえることを期待する。

6-(2) 図書館職員の資質向上につながるブックトークの継続を評価する。

**7 障害者や高齢者に優しい図書館**

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R4年度 事業計画	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料・電子書籍等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進		
事業実施 状況	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料・電子書籍等を収集・整備 ・視覚障害者用音声付インターネットサービスについて、リーフレットやホームページ上で紹介		
課題等	・障害者や高齢者の電子図書館利用促進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

R4年度 事業計画	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進 ・「防府図書館ひなぎくネット」(国立国会図書館が制作・収集した音声デージー等の視覚障害者等用データ等を提供するサービス)の周知と利用促進		
事業実施 状況	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読(0件)・郵送貸出(10件) ・「防府図書館ひなぎくネット」についてリーフレットやホームページ上で紹介		
課題等	・障害者や高齢者のためのサービスの周知		
自己評価	・サービスの利用が少なかった	評価	B

(3)障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館			
R4年度 事業計画	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援 ・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進		
事業実施 状況	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援として、ホームページ上での会員募集を実施 ・ボランティアへの施設・設備・資料等の提供		
課題等	・次世代を担うボランティアの育成		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

**【図書館協議会の意見(案)】**

7全体 障害者や高齢者の図書館利用促進のために、様々なサービスの提供等が概ね計画通りに行われており、十分な配慮がされていることを、大いに評価する。

7全体 障害者や高齢者のための電子図書をはじめ、電子機器やシステムをもっと活用できないか。

7-(1) 大活字本の新刊本のブックリストがあると便利である。

7-(1) 本が高い位置まであるので、障害者や高齢者には利用しにくいのではないか。

7-(1) 図書館の位置や場所が分かりにくく、入館しづらいため、もっとわかりやすい大きな表示を望む。

7-(2) 認知症関連など高齢者対象サービスの新企画を望む。

7-(3) 障害者サービス周知への努力が、ボランティア育成にもつながることを期待する。